

二葉祭に昭和初期の雛飾りを展示して

第57回二葉祭に昭和の初め（11年頃）、当時の岩本校長はじめ職員のカンパにより購入していただいた七段飾りのお雛様を、会議室の半分をお借りして展示させていただきました。更に、同窓会室の棚に保管されていた懐かしい旧校舎と行事などの30年以上前の写真も展示させていただきました。

9日（土）第一日目は朝から雨。肌寒く、訪れて下さる方がいらっしゃるか心配でした。午前10時の一般公開開始と同時に、矢崎元会長、河西（頼）元会長のお二人がお見え下さって、お雛様や写真をご覧になって下さいました。

お雛様も、由来がわかると観て下さっていた方たちもとても感心されていました。また、旧校舎の写真も、若い方々も「ほ〜！」とか「へえ〜！」と、興味をひかれていたように見えました。特に祖父母や父兄の方々は、じっくりと写真に見入っていらして、昔を思い出されていた様子でした。この時は写真を展示して良かったとホッとしました。

午後2時より、校長室に於いて、生徒会代表の方たちに、竹花会長と櫻田の二人でお会いし、「二葉祭お祝い金」を差し上げました。この時の模様は長野日報社と市民新聞社の二紙が取材して下さいました。

10日（日）第二日目は、昨日と打って変わって真夏の太陽が朝からジリジリと照りつける暑い日となり、生徒さんたちのテンションが前日よりもずっとずっと高くなったような気がしました。さすがに、日曜日で来客の数も前日よりも多く、中には車いすに乗られて見えて下さった方もいらっしゃいました。そして、30代半ばとお見受けした女性が、小学生以下のお子さん二人とご主人とお見えになり、展示されていた2000年6月1日の「旧校舎お別れ会」の写真パネルをじっとご覧になって、「これもしかしたら私かもしれない。」とおっしゃり、指でご自分が写っている辺りを指してご家族に見せ、ご主人やお子様たちも「うん！そうそう。多分そう！」と、写真の中の若い頃のお母さんを見つけて、嬉しそうに話させていました。そんな方はお一人だけでしたが、この写真を展示してほんとに良かったとつくづく思い、また来年ももっと充実させて展示したいと思いました。

午後1時頃から、お雛様の前で「ひな飾りの集い」を音楽部の生徒さん11名にお手伝いしていただき開催しました。竹花会長の挨拶の後、全員で校歌斉唱。次に、大村はま先生作詞による「ひなまつり」を音楽部の生徒さんに歌っていただきました。私は初めて聞く歌でしたが、情緒があり、また生徒さん方の混声の歌声がとても素敵で、もっと聴いていたいなと思いました。そのあと、生徒さんにもう一度「ひなまつり」を歌っていただき、参加者全員一緒に歌わせていただきました。集いは15分ほどでお開きになり、生徒さん方にお礼をして終わりました。なぜだか、心が洗われた気持ちで清々しかったです。本当にありがとうございました。

6日に竹花会長、櫻田で雛組立の予行演習をし、8日に小林（佐）副会長、櫻田、そして重い物を運ぶお手伝いをして下さった生徒さんでお雛様の飾りつけをし、展示を経て、10日に片づけを竹花会長、小林（真）副会長、櫻田でし、二葉祭でも展示を終えました。展示の仕方はシンプルでしたが、涼しげでとても良かったと思いました。

永田先生や生徒さん方には、お雛様の出し入れに大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

（記録 櫻田智子）